

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和元年 5月30日（木）

2 確認箇所

2号機タービン建屋1階、2階

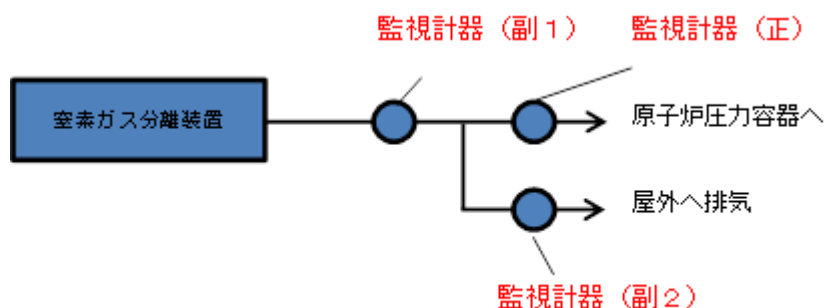
3 確認項目

2号機原子炉压力容器窒素封入量を監視している流量計の状況

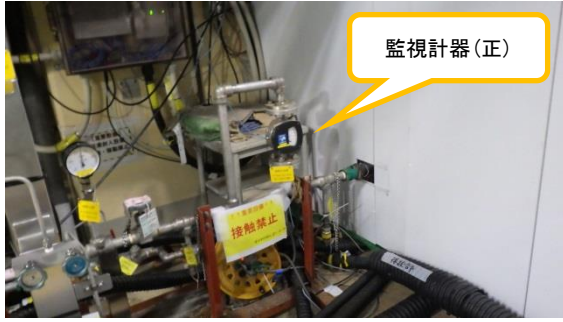
4 確認結果の概要

5月20日に2号機原子炉压力容器への窒素封入量を監視していた流量計（以下、「監視計器（正）」）の測定範囲の下限值を誤認（正しくは $5\text{ m}^3/\text{h}$ であったものを $10\text{ m}^3/\text{h}$ と誤認）していたことが判明した。その後、東京電力は2号機原子炉压力容器への窒素封入量を監視計器（正）よりも上流側に設置している流量計（以下、「監視計器（副1）」）の値から流量調整用の配管に設置している流量計（以下、「監視計器（副2）」）の値を引いて算出し、この値で原子炉压力容器へ送られる窒素封入流量を監視していることから、当該監視計器の状況を確認した。

- ・2号機原子炉压力容器窒素封入系の概略図は（図1）のとおりであり、今回は監視計器（正）及び監視計器（副2）の状況を確認した。
- ・監視計器（正）は2号機タービン建屋1階の北西側の通路に設置されており、誤接触防止のため、重要計器である旨の標示が掲示されるとともに、区画が設置されていた。（写真1）
- ・監視計器（副2）は2号機タービン建屋2階南東側に設置されており、監視計器（正）と同様に誤接触防止措置がなされていた。（写真2）
- ・東京電力によると今後、監視計器（正）を測定範囲の下限值が低い計器に取り替えるとのことである。



（図1）2号機原子炉压力容器窒素封入系概略図



(写真1)



(写真2)

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。